

ODIP 4.4 修正パッチ (P1040407006173) リリースノート

2025/1/29

(株) インテリジェント・モデル

ODIP は、(株) インテリジェント・モデル社の登録商標です。

本書に掲載された情報に基づいた行為の結果として発生した損害、利益の損失、経費などについて、(株) インテリジェント・モデルならびに本書の製作関係者は一切の責任を負いません。

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で転載・複製することは法律で定められた場合を除き、禁止されています。

目 次

A. 変更内容	4
1. DB-LINK 先のカラム情報が取得できないケースのデータ複写エラー回避	4
B. パッチ適用による影響	4
C. パッチの適用方法.....	4
1. ライブラリファイルの更新	4
2. パッチ適用後の確認.....	5

A. 変更内容

1. DB-LINK 先のカラム情報が取得できないケースのデータ複写エラー回避

複数の Oracle データベースインスタンス間のデータ複写において、DB-Link による接続先テーブルへのシノニムからテーブルのカラム情報が取得できない場合に、データ複写が異常終了します。本パッチでは、ODIP の設定ファイルに記載されるダイレクトインサート用 SQL 文のスケルトンに、<to_columns>及び<from_columns>の選択リスト指定がなければ、テーブルのカラム情報を参照することなく、SQL 文を実行するように変更されました。

B. パッチ適用による影響

既存の定義への影響はありません。

C. パッチの適用方法

本パッチは、次の ODIP 製品に適用してください。

- ☐ ODIP アドミニストレータ v4.4
- ☐ ODIP オペレーションマネージャ v4.4
- ☐ ODIP リポジトリマネージャ v4.4
- ☐ ODIP プロセスマネージャ v4.4
- ☐ ODIP リポジトリサーバ v4.4
- ☐ ODIP トランスフォーマ v4.4

1. ライブラリファイルの更新

実行中の ODIP 製品を終了し、ODIP_P1040407006173 フォルダに格納されているライブラリファイルを、表 1 のファイルのコピー先に上書きコピーしてください。

表 1 ODIP_P1040407006173 のフォルダ構成及びファイルのコピー先

ODIP_P1040407006173	ファイルのコピー先
---------------------	-----------

	lib	
	ADM	ODIP アドミニストレータの lib フォルダ
	OPE	ODIP オペレーションマネージャの lib フォルダ
	RPM	ODIP リポジトリマネージャの lib フォルダ
	RPS	ODIP リポジトリサーバの lib フォルダ
	TFM	ODIP トランスフォーマの lib フォルダ

2. パッチ適用後の確認

パッチ適用後は、各製品を起動し、表 2 の確認方法に従って確認を行ってください。

表 2 パッチ適用後の確認方法

製品名	確認方法
ODIP アドミニストレータ	ヘルプメニューから“ODIP について”を選択し、表示されたすべてのビルド ID が 1040407006173 であることを確認してください。
ODIP オペレーションマネージャ	
ODIP リポジトリマネージャ	
ODIP プロセスマネージャ	
ODIP リポジトリサーバ	ODIP リポジトリマネージャのツールメニューから“ORMS サーバ情報”を選択し、“バージョン情報”タブを開き、表示されたすべてのビルド ID が 1040407006173 であることを確認してください。
ODIP トランスフォーマ	ODIP トランスフォーマを起動し、showserver コマンドを、オプションに“-info version”を指定して実行してください。表示されたすべてのビルド ID が 1040407006173 であることを確認してください。

以 上